

ヒノキのはがき

西川材ヒノキの間伐材を使った木のはがきを使って、名栗の思い出を描いた手紙を作りましょう。ここでの思い出を書いて郵送することができます。



対象	実施時期	定員	所要時間
3歳以上	通年	5~150人	1時間
利用者持ち物	プラザ貸し出し備品	材料	
切手（投函希望の方のみ） ※定型内郵便(50g以内)の切手 (木のはがき1枚は約30g)	カラーペン・スタンプ・スタンプ台・ゴミ用バケツ・焼き印（希望者のみ）	ヒノキの板・紙やすり	

ねらい

- ・想像力や表現力を高める。
- ・西川材間伐材の活用
- ・名栗の自然物を使った思い出の作品を作る。

実施の流れ

打ち合わせ・説明

- ◆開始 15 分前に、当所職員と団体代表者の打ち合わせを行います。
- ◆その後、全体への説明は当所職員が行います。

以降は、各団体で進行してください

準備（1作業台 2~3人程度）

- ① 作業台（丸太イス）を準備します。
- ② ヒノキの板・紙やすりを配布します。カラーペンは各グループで使えるように置きます。

実施

- ① ヒノキの板の切り口のささくれを紙やすりを使ってけずります。
- ② カラーペンやスタンプなどで文字や絵を描きます。

※切手を貼って投函。（切手は持参）

片付け

- ① 道具類は所定の場所に戻します。
- ② 使用した作業台を元あった場所に戻します。
- ③ 下に落ちた木くずやゴミを掃除します。ゴミは職員が用意したゴミ用バケツにまとめてください。

まとめ

- ・作品披露。
- ・ふりかえり

留意点

- ささくれ部分を削る際のけがに注意しましょう。
- はがきに記入した住所が読めるか、団体指導者の方が必ずチェックしてください。
- 名栗近隣の郵便局から投函することができます。ご希望の場合は窓口にお声かけください。
- 必ず職員と出した枚数と切手が貼ってあるかを確認してください。

SDGs への取組

- 国産間伐材を使うことで、森の豊かさへの貢献ができます。
- 自分で作ったクラフトに愛着を持つことで、モノを大切にする気持ちを育めます。

